

憲法9条に反する「安全保障関連法案」に
反対する意見書採択を求める請願書

戦争法案反対尾北集会実行委員会

代表 石原 之浩

住所 江南市般若町東山180

紹介議員

【請願趣旨】

安倍政権は、5月15日に、「国際平和支援法案」と自衛隊法や周辺事態法など10の法律を改正する「平和安全法制整備法案」を国会に提出しました。

この法案は、集団的自衛権行使容認を柱とした閣議決定（2014年7月1日）並びに本年4月27日の新たな日米ガイドラインの合意に合わせて、自衛隊が平時から緊急事態に至るまで、いつでも、世界のどこでも、武力の行使や、他国軍の支援、停戦処理活動等を広汎に行うことを可能にするものです。

日本が攻撃されていなくても武力で協力する集団的自衛権の行使は、日本を戦争への道に引き込むものです。

またPKO活動のほかに、国連が関与しない有志連合の活動にまで業務範囲を拡大し、従来禁止されてきた「駆けつけ警護」を行うことや、武器の使用も認めています。

以上のことから、本法案は、憲法前文及び9条に違反し、戦後70年営々と築いてきた、平和国家としてのあり方を根本から覆すものです。

世界は今、戦争ではなく平和的、外交的努力で問題を解決することが主流となっています。憲法を生かし、アジアと世界の平和に貢献することこそ日本の進むべき道であると考えます。

よって「安全保障関連法案」に反対する意見書を採択していただくよう請願いたします。

【請願事項】

1. 憲法に違反し、日本を戦争に巻き込むおそれのある「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」に反対する意見書を国会並びに政府に提出してください。

氏 名	住 所	印

取扱団体